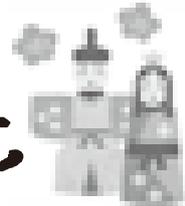


あどぼけいと

HSK



1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号540号
 発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会
 発行日=2017年3月10日(毎月10日発行)
 編集者=我妻 武
 ◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
 〒063-0812
 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F
 TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323
 ホームページ <http://npolife.net/>

2017年3月号

No.195 [March]

定価 100円

あどぼけいと【advocate】=すべての人がもつ権利を、障害などさまざまな理由で行使できない状況にある人に代わり、権利擁護のための活動を行っている人々の事。

年明けの ニュースから 感じる事



理事長 我妻 武

年明けのニュース等から所感を書くことにしたいと思います。

アメリカではドナルド・トランプ氏が大統領となり、マスコミの対応や大統領令の連発などでマスコミへの情報操作と入国規制などを行なおうと試みています。また、かろうじて平和の均衡を保っていた中東情勢の転換の考え方も紛争の火種を生む非常にキナ臭いものになりそうです。さらには身体障害を持つ新聞記者の姿を真似てからかい、その記者の仕事を侮辱しました。こんなことをするリーダーは障害者福祉には全く関心がないのだろうとも推察できますし、一国のリーダーがこんなことを簡単にやってしまう怖さがあります。これはアメリカだけではなく、恐ろしいくらいに負の動きを加速しているように思えるのは私だけではないと思います。

こうした流れはヨーロッパでもあり、極右政党が躍進しているというのだから恐ろしい。自国のことだけを最優先に考え、大統領令を連発して移民を排斥し、閉鎖的になりつつあるアメリカの現状を非常に危惧しています。そして、これらのことからもっと人間を分断し、差別の構造を再構築するのではないかと危惧しています。

基本的にはアメリカ国民が選んだリーダーですが、私ごときがコメントするのはお門違いかもしれないのですが、アメリカにはそのリーダーのやり方がおかしいと気付いた時に声をあげる人たちが大勢いることには少しほっとします。これはヨーロッパでも。

日本のリーダーはトランプ大統領との関係構築に

躍起になっていますが、本当にそれだけでいいのでしょうか。日米間で議論しなければいけないことはたくさんありますし、国内にも課題は山積みです。

日本でも昨年夏に神奈川のみやまゆり園事件で障害者を抹殺しようとした事件があり、元職員の考え方に恐怖を感じましたし、自分が殺される側にいることも自覚させられました。日本政府は事件が起こった当初「現在のところ、警察から事件の被疑者(犯人)とイスラム過激派との関連を示す情報は把握していない」と語ったそうです。まずは被害者の方々へお見舞いのコメントと哀悼の意を表することが重要だと思うのですが、ここに政府の障害者福祉に対する考え方の全てが表れているような感じがします。さすがに後から出したコメントは被害者への配慮が見られるコメントを出しましたが、最初のコメントには驚きました。

しかし、この事件を契機に日本の障害者政策について、きちんと議論がなされたでしょうか。施設を新築する、障害者のことを知ってもらうための啓蒙するなど、様々なことが出てきましたが、きちんとした議論も、議論の過程も最近では聞こえてこなくなりました。

差別構造の再構築をしないためにも我が国のリーダーは「国民の生命、幸福、財産を守る」ために何を考え、何をするのか。きちんとコメントを出してほしいと願っています。

※この原稿を書いている時にも関西学院大学の講師が福島出身学生に対して放射能を浴びているから光るのではないかと発言したというニュースが入ってきました。大学側は「差別的発言だった」とコメントしたそうですが、講師のコメントは出てきていません。もう差別の連鎖が始まっているのかもしれませんが、だとしたら、それを止める行動をしなければいけないと思っています。



札幌市リユースプラザ

厚別地区リサイクルセンター併設

環境事業／ごみ減量活動

- 家具の洗い・簡易修理
- 資源物回収
- 木製家具や子供用遊具などの販売
- リユース自転車抽選販売
- 環境イベント、講座など

札幌市リサイクルプラザ

発寒工房

環境事業／障害者・高齢者雇用促進

- 木製家具や子供用遊具の修理・提供
- 自転車の修理・提供

リユースプラザ冬まつり終了しました！

リユースプラザ 西田 大作

2017年2月25日(土)は、お天気晴れ！ 風なし！ 暖かい！ の三拍子がそろった冬まつりが無事終了しました。恒例の「レジ袋凧づくり」互久楽さんの「厚紙鼻笛づくり」、雪中「カルタ大会」「アイスクリームづくり」、岡林名人との「オセロ対決」にたくさんのお子様たちが参加してくれました。来場者数は289人でした。ひだまり特製トン汁、おでん！ もこもこさんの出来立てポップコーン、原宿ドッグ販売で食べ物充実。おでんや炊込みご飯が完売するという嬉しい悲鳴でした。2月の中旬から降雪があり、つき山も広場もたくさんの雪で覆われていてソリすべり・カルタ大会が大いに

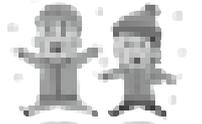
盛り上がりました。そして、午前中に作った凧を上げているようすを見て急遽午後からも凧作り教室再開となるという本当に、リユースプラザの冬まつりを楽しんだご家族連れがたくさん来館して下さいました。おかげさまで平成28年度6回のイベントを大盛況で終了することが出来ました。ありがとうございました。



リユースプラザ冬まつり 写真で"回想"



〓 オセロの神がこうりん！ 〓



3才のむすめさんのため、全力しっ走のお母さん たこが上がってるところ、見せたい!!



この下で対決したかった！
(おか林談)

アイスクリーム作りを止めても対決したいオセロ！ けっかは??



自転車ちゅうせん会が大スキな、こころや大ほりさん
大ほり:「ねえ!この中の紙をそろそろ引いていい?」
西田:「もう少し、かきませってから!」



紙のはな笛づくりのようす～
とにかく、線の通りにていねいに切る！
それがヒケツ!!



おでんもトンじるも
じゅんぴばんたん
はん売員も
整いました!!



雪中カルタ大会のだいで味は～ 思いっきりダイブ!!



リユースプラザ、
西田・小野コンビ作の
たれまくの下で
えんそう中のごく奈さん



不用品などを使ったリメイクや工作は～お任せ下さい!

リユースプラザ館長 松永 クニ子

リユースプラザでは、毎月土曜日にお子さんを対象とした簡単工作を行っています。工作の内容は、家庭にある物で、簡単で、見栄えがすること! がポイントです。2月は雛まつりに向けて、「枝を使ったお雛さま」だったり、8月は夏休みの工作にピッタリな「プリンカップを使った風鈴づくり」などです。大人の方から「作りたい!」という声が多いのは「石と古切手を使ったペーパーウエイト」これは、ちょうど良い形の石を準備するのがちょっと大変。去年のGWに家族の冷たい視線を避けながら浜辺で30個ほど拾って来ました(笑)ところで、今年のライフの新年会の時に環境事業のメンバーが持っていた「2017年の抱負」の巻物もリユースプラザで作りました。ちなみに重厚な印籠は発寒工房作ですよ! 市民から寄付して頂いた和紙とサランラップの芯などを使って、小野さんと二人で手づくりしました。そして、グッと高級感を上げてくれたのは発寒工房の平野さんをお願いした毛筆です。メンバーは、重厚な抱負を参加者にしっかり披露したので



すから～2017年は実のある1年になることでしょう!

更に、冬まつり用には西田・小野コンビでパソコンと折り紙、和紙を駆使して素敵な飾りや案内を作成しました。

皆さま、「こんな物は出来ないかな?」ということがありますら、ぜひご相談下さいませ!!

ちなみに、紙だけではなく、布、毛糸、端板などの加工もOKです。

就労継続
支援事業
A型

共働事業所 きばりや

農業／軽作業

■農業 ■ポスティング ■DM発送 ■軽作業 ■その他委託業務



カフェ・ド・キバリヤ

Cafe de Kibariya

喫茶

■カフェ、ランチ、スイーツなど ■食品・野菜販売



年度末

きばりや 大浦 拓磨

いよいよ2016年度も今月で終わりを迎えますが、各現場で様々な事が起こり大変な一年であったと思われます。きばりやはベテラン二人が退職してしまい寂しいですが、それを紛らわすかのようにみんな頑張つて仕事しています。

突然、話は変わりますが、皆さんはアドボケイトの意味はしっかり理解しているのでしょうか？正直、僕はまだまだ勉強不足ですが、ライフの間でもちゃんと理解して実践している人は少ないように感じるのが本心です。何が正解で不正解かわからないですが、2017年度は少しでもその答えを見つけられる私になりたい。



初めてのインフルエンザ

カフェ・ド・キバリヤ 小土 真由美

インフルエンザになり、かぜが治りづらい身体になって辛いときに、カフェのみんなのやさしさで良くなりました。

私の職場はたべものを口にする場所でもあり、みんなに心配をかけたので、はやく治したいと思っています。

それでも、身体を動かさないと治りもしないので、がんばつてかぜを完全に治したいと思っています。

またかぜをひかないようにがんばります。



最近のこと

きばりや 真光 和徳

年が明けてはや2か月が過ぎました。

中仕事はDM発送をする資材を牛乳ビンで折ったり、宛名のシール貼りなどをしたり、今はまめの選別作業をしています。あと、ポスティングがはじまるかもしれません。

3月下旬には、もしかしたら農道の雪もだいぶ融けて、はたけまで車が入れるようになっているのかもしれませんが。



最近の様子

きばりや 織本 亜哉子

私は最近「THE人生ズ」というバンドに入り、健常者と楽しくおしゃべりをしながら音楽活動をして、見に来てくれた人と仲良くなり、新しい友人も増えてきました。

でも、間くところによると、障がい者と健常者が仲良くしてはいけないという事業所があるのは、私としては変わったところだなあと驚きました。

私は今まで障害者として、自分でできる仕事は自分なりに精いっぱいやって、それでも難しい仕事は健常者に助けてもらいながらやってきました。

私はこれからも仲良く健常者と仕事をがんばったり、色々と交流して生きていきたいです。

障がい者にやさしくない事業所は減ってほしいです。



カフェ・ド・キバリヤ

今月のおすすめ！

その時期の旬の野菜をメインに、山中牧場の牛乳をたっぷり使用しています。

今の時期、特に人気なのは、きばりや自慢の「菊イモ」を使ったポタージュスープです。

菊イモは、体脂肪を増やさず、悪玉コレステロールを減らし、高血圧にも効果があったり、血糖値を下げる事から「食べるインシュリン」とも言われていて、雑誌でも取り上げられているスーパーフードと呼ばれている野菜です。

カフェでは、きばりやの野菜販売(菊イモ、キクイモ乾燥チップス)もしておりますが、ただ今サービスでおにぎりにキクイモの漬物をおつけしています。(若森)



冬の人気者

《ポタージュスープ》 …… 小200円

大300円



たねや
キャラクター
タネコ

就労継続支援事業B型
共働サービス

たねや

店舗業務/清掃/軽作業

- 自然食品・雑貨などの販売、店舗業務
- 出張販売 ■ 清掃委託業務
- 軽作業

「札幌市子どもの貧困深刻 はじめての調査中間報告」、 「NHKスペシャル 見えない貧困」の放送について 畑 憲一

2月の道新で、子どもの貧困の実態について札幌市でははじめての調査が行われました。

札幌市内の2～17歳までの子どもがいる世帯の約6割が生活に余裕が無く家計が苦しい、約2割が病院に行かせられない等の中間報告がされました。

また、同月放送のNHKスペシャルでも、全国62の自治体による新たな大規模調査による子どもたちの見えない貧困の実像が放送されました。高校生のアルバイト理由の約半分が生活費を稼ぐためと回答。また調査からは子どもが当たり前持っている「物」「人との繋がり」「教育の機会」が奪われている事がわかり、200項目の細かな調査で最も苦しい状況の世帯で何が奪われ、届いていないか「剥奪指標」として可視化しました。詳細は割愛させていただきますが、内容は衝撃的で、自助努力ではどうにも出来ない状況が放送されました。

2015年に石澤代表が中心となって設立した、NPO法人北海道社会的事業所支援機構による、共に働ける環境づくり、地域全体で支え合う仕組み作りを構築していく活動を一層加速させる必要がありそうです。何か出来ないだろうかと思っている次第です。



冬

高橋 繁広

雪のえいきようでバスが来るのがおくれたり、満員になつたりします。

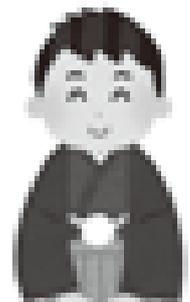
出張販売も雪で遅れた場合もありました。

雪には困りましたね。

今年も工賃を上げるべく、POPデザインをしてくれる人がいたり、意見してくれる人がいたり、軽作業が得意な人がいたり、清掃に行く人がいたり、挙げるとキリがないくらいいろいろな人がいるので、そこがたねやの魅力の一つだと思います。

もちろん意見が衝突することもあります。それでも「共に働いている」証拠だと思っています。今年も仕事にメリハリをつけながら、いい職場にしていければいいなと思います。

今年もたねやをよろしくお願ひします(結局、ものすごく遅い新年の挨拶じゃないか!というツッコミはスルー)



今年もたねやの個性を実感 小山 譲

アドボケは3月号ですが、原稿を書くのは今年初なので、改めて明けましておめでとうございます。

さて、新年も約2か月過ぎようとしてますが、年明けから「あ、たねやが始まった」と感じました。メンバーもスタッフも個性的なので、毎日、何があるか楽しみやら怖いやらですね(笑)



Facebook 『共働サービスたねや』のFacebookでも、商品情報などを随時更新していますのでぜひご覧ください。
随時更新中! <https://www.facebook.com/taneya.life> 共働サービスたねやfacebook **検索**



就労継続支援事業B型

コン・ブリオ

ひだまり

食品販売飲食業／清掃

- 食堂(ランチ、ドリンク) ■ テイクアウト弁当
- 自然食品、フェアトレード商品販売
- 私立札幌病院床頭台清掃委託業務

豚汁とポリフェノールと黒豆茶

山澤 友紀

先月のひだまりは「豚汁工場」と化しており、大量の野菜を切りました。ごぼうを切った人の手のひらは茶色に！あの色素はポリフェノールらしいですよ？知っていましたか？

ポリフェノールといえば、最近『黒豆茶』を飲むのがマイブーム。女性ホルモンに似た働きをするイソフラボンも豊富に入っているので女性には嬉しいですね。即効性はないようですがダイエット効果もあるようで…。

なので皆さん「あれ？ちよっと痩せたんじゃない？」って遠慮せず声かけてくださいね！



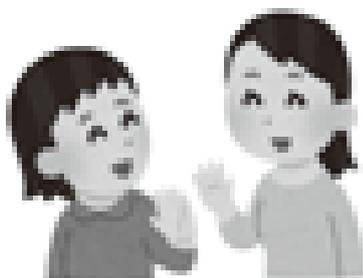
あいさつ運動をやってみた話

藤田 恵

私がひだまりで働き始めた頃、当時のひだまりの皆さんはとても物静かで、おしゃべりもあまりしませんでした。私は、他の方たちとどうやって仲良くしたらいいのか分からず、困ってしまいました。

そこでひとりで「あいさつ運動」を始めることにしたのです。出勤・退勤や機会のあるごとに、「おつかれさまでした」「おかえりなさい」など、声を出してあいさつをしました。やり慣れないことをするのは、勇気が要ります。でもなんとなく少しずつ、寂しくなくなりました。

今はずいぶん仲良くなれたように思います。でも、悪いことではないと思うので、あいさつ運動は継続中です。



わたしの オススメ

小西 宏和

私は昨年11月、包丁を使った事も料理したこともなく、まったくの初心者というところに不安を感じながら入所しました。

しかし今では、自分で包丁を購入して料理をしているくらい料理が楽しいです。

では今回は私のオススメのものを紹介していきます。

【映画】STAR WARSシリーズ

【アニメ】ひぐらしのなく頃に

【ドラマ】水滸伝(中国)

【コミック】漂流教室

【曲】you(雪野五月)

です！



イベントレポート 2017年2月25日(土)《ご近所さんの手助け募集中 in チ・カ・ホ》

障害があったって、人生イロイロ!

永島 勝章

先日、チカホ(大通りビッセ地下)で催されたイベント“ご近所さんの手助け募集中 in チ・カ・ホ”の中のコーナーのひとつ「障害があったって人生イロイロ!」に出させていただきました。

このコーナーは、身体、知的、精神それぞれの障害当事者が、司会者の出すお題について答えていくというもの。お題については1テーマにつき2分ですが、私は言語障害があるため1テーマ3分時間をいただくのと、モニターに私が話したことをテキストにしてうっしてもらいながらの1時間程度のコーナーでした。

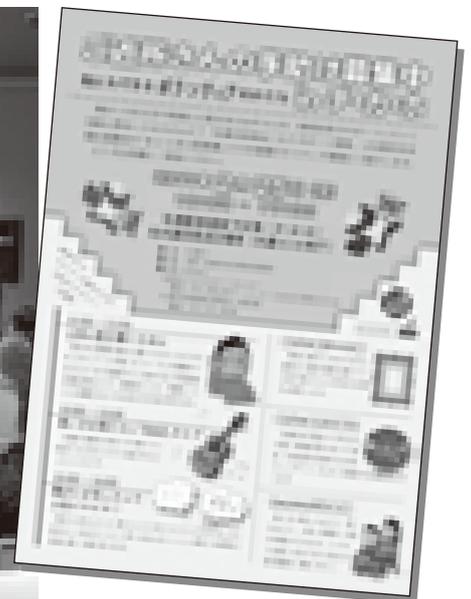
初めての一般に向けた企画なので、なるべく知り合いや友達が来ないようにフェイスブックなどで告知をしなかったのですが、数名知り合いが来ており「お前の薄っぺらい人生なんか聞きたくないよ。」とか「永島くんの人生は動夢舞があったからこそだよ、家族といろんな人に感謝しなさいよ。」などのご意見が聞こえて来て、テンションが下がりそうでしたが(笑)なんとか持ちこたえて本番を迎えました。

本番の中で、「私は、何かひとつ困ってしまうと物事が止まってしまうんです。その時にわからない所だけ教えてもらえれば出来るようになるんです。」と語る知

的障害者の方と「精神障害は薬がちゃんと体に合えば普通に生活が送れます、地下鉄で奇声や変な動きをするのを見かけたりしたら怖いと思いますが、自分を落ち着かせようとしているだけなので人には危害を与えません、精神病の人たちは他人より、自殺や自傷行為など自分にやいばを向けるんです。」と語る精神障害者の方の話を、私の身近にいる障害のある方を思い出しながら聞いていて、またひとつ勉強になりました。

私の話は、どのような場面でも本当に出来ないことをひとつだけ手助けをお借りできれば出来る事が多くなる事と、言葉に障害があっても、一人で街に出ている人は、ジェスチャーや文字盤などのコミュニケーションツールを持っていると思いますので、ゆっくり聞いてくれたら助かるということ語らせてもらいました。

コーナー終了後、知り合いに「子どもが外出先で、うちのパパは歩いて車椅子に乗っていないと駄々をこねられる話は、鉄板ネタになりつつあるね。」とご指摘があったので、また新しい事を考えていこうと思っています。何はともあれ無事に質問も出たりとか、和やかな空気で終わることができて良かったと思います。





生活介護事業 **こころや**

お米販売／軽作業

- レクリエーション ■アート活動
- お米の卸し・販売 ■軽作業

鬼は外、**福**は笑い

小黒 悠佑

今年のこころやの節分は、鬼の福笑いを作り、鬼の免疫を付けるところから始まりました。たっぴり鬼の顔で笑ったらいよいよ皆で鬼を決めて、きばりやの大豆をぶつけて悪霊払いです。もともと節分は、邪気を払う色だということで小豆を厄払いとして、鬼にぶつけていたそうです。

代替えの大豆をぶつけられたこころや鬼二匹は、逃げまどいながらも何故か楽しそう。だんだんヒートアップしてきて、最後は鬼ではない者も狙われるという展開。

皆の邪気が清められた日となって良かったです。



🍷 **せい米について**

西野 悠斗

米のせい米してからもう5年になります

🍷 **もちつきをやりました**

川村 良一

オレはどど新年会はいつてませんでした。ライフの新年会は行って行ってました。



みっちゃんの **勝手にどうぞ~!**

今月のゲスト/こころや 山崎 健一



み 生まれた所はどこですか
札幌です。

み ずっと札幌なのですか
ずっと札幌です。

み さて、どんな事聞いて良いです?
え、何でも大丈夫です。

み 初恋はいつですか
高校生の時ですね。

み 今はいないですか
今?今は…今彼女いるかって事ですか?

み はい
今?今は…うーん、今はいません。

み 初恋の人はなんて人ですか
(耳を赤くして)さちよさんです。

み まちかど荘にいて楽しい事ありますか
楽しい事は…え〜ゲームをする事です。

み それじゃ嫌な事はありますか
嫌な事…■■■■が暴走する事。

み それは何です(笑)
え〜とストーブを大きくする、電気を消す、トイレが長い。

み 完全な一人暮らしはどうですか?寂しいですけど
一回しているから大丈夫です。

み 今後やりたい事はありますか
今後のやりたい事は…えーと特にありません。

み ありがとうございました
はい。

山崎 健一さん、ありがとうございました!



札幌市委託事業

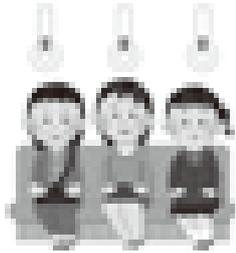
アウトソーシングセンター

元気ジョブ

マッチング事業

- 民間・官公庁への営業活動
- 受注した業務の振り分け
- 授産品の販路拡大

勘違いは 恥だが 富田 英人 役に立つ…?



昨秋、大阪へ行った時感じたことをひとつ。

札幌とは違い電車・地下鉄の路線が物凄く多いのです。地下鉄は市営だけでなく民間も走っているので切符を買うときに見る路線図がグチャグチャで、目的地を捜すまで暫く時間がかかります。

そんな中、とある駅からとある地下鉄に乗って「なんば」まで行くときの事です。平日の午後三時、駅ホーム真ん中あたりで待っていました。周りには女性が2～3人。そこに立って2分もしないうちに「申し訳ありませんが」と話かけられました。俳優か何かに間違われたのかと一瞬思い、どのように応えたらいいかをコンマ何秒で色々考えました。だってここは大阪。ギャグの街大阪。「違います」なんて普通の対応では満足してくれないはず。なんとしなければ…。札幌代表として舐められたらいかんと。しかし考えれば考えるほどあせり、気の利いた応えが見つかりません。

そうこうしているうちに、第2矢が…。「恐れ入りますが、この車両は女性専用車両ですので移動願いますか?」「えっ?」みると駅員さんでした。訊くと女性専用車両は終日設定されているそうです。しかも車両の真ん中を使って。札幌だと時間限定で車両も前後車両(東豊線は真ん中?)を使っての専用なので、まったく意識していませんでした。ホームを見れば「女性専用

車両」と書いてあったので、ちゃんと見ていない僕が悪いです…すみませんでした。

それにしてもさすが大都市大阪。でも話の本題は大ききの違いではないのです。専用車両なので当然移動しなければなりません、ここは大阪。ギャグの街大阪。この移動をお願いしてきた駅員さんも大阪人。きっと切り返しを僕に期待しているに違いないと思ったのです。ボケとツッコミ大事ですよ。そこでまた僕の頭の中ではコンマ何秒の戦いが…。そして口をついて出てきたのが「あら嫌だ。アタシ並べないのね」。うん、かんぺき。こんな突っ込みやすいボケはありません。ひげ面オヤジのこのボケに、どう対応してくれるのかワクワクして待っていました。「ヒゲ生やしたオッサンやん。チャッチャと並びや」くらいの突っ込みは期待したのですが…。ところが駅員さんの対応はちょっと引き気味で気持ち顔を引きつらせているではありませんか。そして一言「恐れ入りますが、移動願います」…普通やん。思いっきり普通やん。しかも並んでる女性はこちらを不審そうに観てるし。えっ?どうゆうこと?なんでボケに突っ込んでくれへんねん。札幌を背負ったボケだったのに…。

大阪人のツッコミを期待していた分、落胆も大きく何故か敗北感が身体を覆ってきました。なんてつまらない街なんだ。大阪がギャグの街というのは僕の勘違い?思いっきり恥をかきました。逃げたいくらいに。でも少し役にも立ちました。思い込みは危険だと再認識できたこと。そして結論。大阪人は思ったよりつまらない。

外注したい業務のある企業様に、その業務ができる施設をご紹介します!

役務 パソコン作業/テープ起こし/封入/シール貼り/草刈り/公園清掃/ポスティング/建物清掃 など

授産 印刷/ノベルティー制作/木工品/革製品/石鹸/パン/ケーキ/クッキー/野菜/お弁当 など

販売 出張販売/イベントなどでの出張販売/バザー など

その他さまざまご相談に応じますので、

詳しくは、元気ジョブまでお問い合わせください! (TEL:011-596-6581)

～施設紹介やイベント情報掲載!～ **元気ジョブブログ** <http://www.genkijob.jp/blog/>





ヘルパー派遣業務・在宅介護支援
ヘルパーステーション

ゆい
繭結

ヘルパー派遣業務／在宅介護支援

- 居宅介護 ■ 訪問介護 ■ 重度訪問介護
- 介護予防訪問介護 ■ 福祉有償運送
- 行動援護 ■ 同行援護 ■ 移動支援

何より第一は **慌**てないこと

ヘルパー 中井 啓之

もう「ゆい」で仕事を始めて何年になるだろう？7年か、8年にはなるだろう。その間の大多数の平穏な日々の合間には何度も何度も、事件？突発事故、非常事態があったことを思い出す。

Aさんが目の前で転倒し、床に伏せた顔の周囲が血に染まり、救急車を呼んだこと。Bさんが精神不安定になり押し入れに籠って困ったこと。Cさんが転倒し、何時間も病院で付き添ったこと。Dさんが移動の最中、身内の転倒事故があり、遠い病院まで急きょ向かい、結局1時間の仕事が6時間も付き添うことになったこと。それ以外もいろいろあったことを思い出す。

それでもどうにか無事平穏な日常に戻れたのは、一つは冷静な対応。そしてもう一つは職員の方々に即座に連絡して、指示を仰(あお)ぐこと。これで、僕にとっての難局をしのいできた、というように思う。

そしてまた、どんなことでもなんとかなる、という気持ちにもなったし、その反面、どんな仕事でも、平穏無事な仕事の繰り返しだけれども、それに慣れてしまい、くつろぎ、油断している時にひょいと異常事態が起こるもの、ということも身に沁みて感じている。それが人生というものなのだろう。

平和な日々を過ごしながらも、何が起きても慌てないこと、すぐに「ゆい」に連絡して、指示を受けて対処すること、それが心の奥に秘めている、僕の信条。とにかく何とかなるもんさ、とも思っている。何も起きないのが一番だけどね…。



さいとうのヘルパー **77** 講座

ホームヘルパーの目的は「自立支援」

介護保険制度も法改定があり、めまぐるしく情報が飛び交う毎日です。中でも「自立」ということが注目され、ADL重視の支援から、QOL重視の支援に変わってきています。

システムや制度に振り回されることなく、ときとして同じ呼吸を感じ、同じ方向を見つめ合う関係づくりと実践が求められています。

ADL



日常生活動作

食事・入浴・排泄といった
基本動作

QOL



生活の質

生活や人生への充実度・満足
を高めることに重きを置く



ライフ事業所一覧

◇NPOライフ本部事務局

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

共働事業所さびりや

TEL 011-644-5533 FAX 011-613-9323

こころや

TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

〒063-0812

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

コン・プリオひだまり

TEL 011-615-4131 FAX 011-615-4132

〒063-0812

札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F

共働サービスたねや

TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088

ヘルパーステーション繭結(ゆい)

TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

〒063-0804

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F

アウトソーシングセンター元気ジョブ

TEL 011-596-6581 FAX 011-596-6582

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園103

共働事業所もじや

TEL 011-596-6583 FAX 011-596-6584

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園104

相談室らいふ

TEL 080-6076-1474 FAX 011-596-6584

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園203

Cafe de Kibariya(カフェ・ド・キバリヤ)

TEL・FAX 011-758-6533

〒060-0808

札幌市中央区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内3F喫茶コーナー

札幌市リユースプラザ

TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

URL <http://www.reuseplaza.jp>

〒004-0003

札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10

リサイクルプラザ発寒工房

TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816

URL <http://www.reuseplaza.jp/10hassamu.html>

〒063-0835

札幌市西区発寒15条14丁目2-30

3月

イベントカレンダー

今月のイベントの予定はありません

最新の情報は、
ホームページを
ご覧ください！<http://www.npolife.net>

NPOライフ

検索

《NPOライフブックレットのご紹介》

ぼくたちだって人間だ!!

障害者として生まれた満美。

話すことも、自由に動かすことも出来ない手足で
自殺まで考えた彼が今、

『生きていて幸せだ。』と言えるのは…

岡林満美、渾身の一冊、ぼくたちだって人間だ!!



NPOライフブックレットNo.3

ぼくたちだって人間だ!!

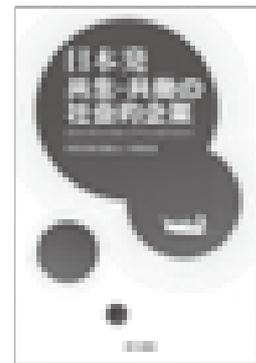
A5判 134ページ

定価 800円 (送料別)

岡林満美のCD

僕たちの
小さい命定価
300円
(送料別)「ぼくたちだって人間だ!!」×CD「僕たちの小さい命」同時購入がお得！
合計金額1,100円(送料別)のところ→ 同時購入価格 1,000円 (送料別)日本発
共生・共働の社会的企業

経済の民主主義と公平な分配を求めて

社会的排除から
インクルージョンへ障害者、薬物・アルコール依存、
シングルマザー、ホームレス、
ニートなど、社会的に排除され
やすい人を一定割合雇い、ソー
シャルインクルージョンと平等
な分配を追求する社会的事業
所の意義と取り組み、促進のた
めの制度を考える。

編者 NPO法人共同連

現代書館 195×135 240ページ 定価 2,100円

ブックレットのお申込みは、NPOライフ本部事務局まで！
メールでのお申込みは → main_lifemail@npolife.net

ご協力ありがとうございます(順不同・敬称略)

アドボケ購読料 川村 勇 西道 敏一 高妻 政行 石川 佐和子 東 真紀子 北海道教職員組合 しょうがい児学校部

寄付金 高妻 政行 **賛同会費** 高橋 亨 **維持会費** 福田 敏夫

ライフカンパのご案内 ~だれもが地域であたりまえに暮らし、働くことができる社会を作ろう~

ライフは障害の種別を超え、「働きたい」と願う人の気持ちを繋ぐために25年以上活動を続けてきました。これからも、障害のある人ない人をはじめ、社会的に不利な状況にある人たちも含めた、共に働き共に生きていく「社会的事業所」づくりをすすめていきます。ライフの活動に共感してくださる皆様方からの応援を是非ともお願いいたします。

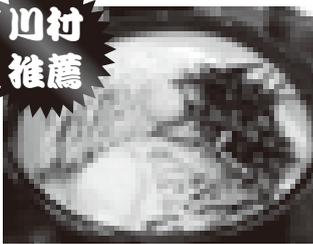
お振り込み先	口座番号/加入者名
北洋銀行	琴似中央支店 普通預金 4606735 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
札幌信用金庫	琴似支店 普通預金 3296744 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
ゆうちょ銀行	振替口座 02710-4-63485 NPO札幌障害者活動支援センターライフ

月替わりコラム
~私のオススメ~

おすすめのお店

札幌市リユースプラザ 川村 公穂・久保 俊一

川村 推薦



そば処 大番 テレビ塔本店

場所はさっぽろテレビ塔地下1階、ここに行く時は、絶対腹ペコで行くこと!決して大盛りは頼んではいけない!この2箇条を守ってください。

もりは400円、ごぼう天、かき揚げ、かしわ、肉蕎麦は600円と値段はリーズナブル。そして、普通でも大盛りなのです。少な目ご希望の方は「小盛り」と注文すると良いとか。HPで確認すると一番人気は、冷やしタヌキ蕎麦550円。

【住所】中央区大通西1 さっぽろテレビ塔地下1階 【営業時間】10:00~20:00 ※土日は19:00まで 【定休日】年末年始

久保 推薦



S&S畜産 ~若鶏の半身揚げ~

若鶏の半身揚げが、1枚税込500円。とにかく皮がパリッ!パリ!塩加減も最高リユースプラザの年末仕事納めの定番!

※久保さんの差し入れである

【住所】西区平和1条6丁目1-8 【営業時間】11:30~18:00 【定休日】年中無休

編集後記

暦の上では春ですが、北国の冬は長く、もう少しの辛抱と自身に言い聞かせながら外の景色を眺めています。ご心配をおかけしていました石澤さんも少しずつ事務局での勤務を再開しています。多くの方々からお見舞いのコメントいただきましたことに紙面から感謝申し上げます。石澤さんは、ゆっくりと体慣らしもする間もなく、理事たちと山積しているライフの諸課題について議論しなければなりません。人事、運営、新たな拠点構想など、重要なことがたくさんあります。さらに長年言われていることですが、事業運営を担える若手の人材をどう育てるかということも喫緊の課題です。ライフの春はいつ来るのでしょうか。(タケ)

おどばけい
2017年 3月号
No.195 定価 100円

2017年3月10日(毎月10日発行) HSK通巻番号540号 1973年1月13日第三種郵便認可 発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会
編集者=我妻 武
◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323
E-mail main_lifemail@npolife.net ホームページ http://npolife.net/ 郵便振替口座 02710-4-63485